

# 水辺の生き物はどこにすんでいるかな？

～生き物の種類から"水"について考えてみよう～

きれいな水：透明度  
栄養度



サワガニ  
水深が浅い石の下に生息している。汚れの少ないきれいな水を好む。



ヤマメ  
川の上流に生息していて、水生昆虫などを食べる。川で一生活を過ごすタイプ（ヤマメ）と、海に下るタイプ（サクラマス）がある。



カワゲラ  
渓流の石の間や、流れがゆるやかで落ち葉などが積もるところに生息している。

少し汚れた水：透明度  
栄養度



ヨシノボリの仲間  
水底、岩の隙間などに生息している。腹には吸盤がある。



ゲンジボタル  
幼虫は細流に生息し、カワニナを餌とする。幼虫、成虫とも発光する。



カワニナ  
砂礫底に生息している。比較的冷たい水が安定して流れている細流を好む。



オイカワ  
川の中～下流やそれとつながる湖沼、用排水路などに生息している。

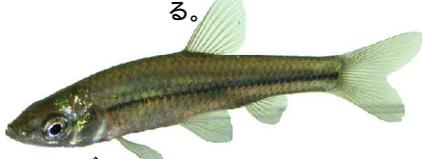
汚れた水：透明度  
栄養度



タニシの仲間  
泥の底に生息していて、水底に生息する動植物やそれらが腐敗したものを食べる。



ミズムシ  
エビやカニの仲間。やや汚い川や沼などの、流れの穏やかな水域に生息する。



モツゴ  
湖、池沼や河川の下流域の泥底の淀みに生息している。底生動物やプランクトンなどを食べる。



ヒルの仲間  
水中の沈んでいる石などの裏側に生息している。



コイ（上）フナの仲間（下）  
川の中～下流域のよどみや、ダム湖、ため池など流れのゆるやかなところに生息している。

とても汚れた水：透明度  
栄養度



イトミミズ  
有機物の多い汚れた水の流れる河川・池沼・下水溝・田んぼなどの泥底に生息している。



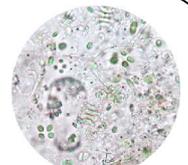
ユスリカ（幼虫）  
ヘドロの中のように水中に溶けている酸素が少ないたいへん汚れた水に生息している。



アメリカザリガニ  
流れの緩やかな浅い泥底に生息している。

## きれいな水ってどんな水（生き物の良い住とは）？

水のよごれは計測器具で測定したり、見た目や臭い等の感覚でも判断します。ここでいうきれいな水、汚れた水というのは、見た目や臭い等の感覚的な分類です。ここでは **きれいな水** 透明で不快な臭いなどがしない水 **汚れた水** にごっこいて不快な臭いなどがする水 としています。



汚れた水の正体はプランクトンや泥など

生き物がどのような水を好むかは、体のつくりや生活スタイルの違いによって様々です。水質をはじめとする環境の良し悪しを判断するには、上に挙げたどのような生き物が住んでいるだけでなく、“昔いた生き物”と“今いる生き物”の違いを調べてみることも大切です。農薬や除草剤、化学肥料の流入は水辺の生き物にとってダメージを与えることがあります。